

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2021年 2月 6日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新河岸校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	個別での対応の為、パーティションで区切り十分なスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	4	0	受け入れ人数に対しての職員数は適切である。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	2	「さわらない」「入らない」などは絵カードや黄色いテープなどでわかりやすく示されている。	入口に段差があるが、ご利用される方へ声がけを行うことで、つまずきや転落が無いように対応をおこなっている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	1	日々の清掃や感染対策として支援後、支援道具を消毒したり、換気を毎回行っている。	収納スペースが少なくなっているが、教材等は廊下に保管することで、生活空間の確保をおこなっている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	0	朝礼や終礼で情報を共有し、振り返っている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	年に一度保護者の方へ事業所評価のお願いをしている。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	事業所評価についてまとめ、ホームページへ掲載している。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	0	今は外部評価については取り組めていないが、今後必要な場合は外部評価を行う。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	テーマ研修や事例検討会が実施されている。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	保護者へモニタリングを行い、職員間でも分析した上で計画の作成にあたっている。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	統一したアセスメントツールを使用している	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	適切な対応を心掛けている。	

	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	計画についても常に確認ができるような体制を整え、計画に沿って支援を行っている。		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1	立案については各職員で行っているが、振り返りや共有はチームで行っている。		
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	担当を一人に決めず、様々な職員が関わることで、活動プログラムが固定化しないよう工夫している。		
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	状況に応じて集団での活動を取り入れている。計画については全体的な部分での作成をおこなっている。		
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	朝礼を設け、打ち合わせを行っている。		
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	終礼を設け、打ち合わせをしている。		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	こどもの様子や行った支援内容を具体的に書き残し、共有している。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	最低でも6ヶ月に1回モニタリングをおこない、計画を見直している。		
	関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	教室内の状況によって、必ずしも最もふさわしい者が参加できるとは限らないが、できるかぎりふさわしい者が参加できるように努めている。	
		㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	1	相談支援事業所との共有はおこなっているが、それ以外の部分はおこなえていない。	
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	0	重症心身障害を持つお子様がいるが、連携の準備ができていない。		
㉔		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3	0	重症心身障害を持つお子様がいるが、連携の準備ができていない。		
㉕		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	相談支援事業所を介しての取り組みはあるが、直接かわることは無い。	担当者会議をする機会が少ないので、機会があれば行いたい。現在はコロナ禍の為自粛中。	
㉖		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	相談支援事業所を介しての取り組みはあるが、直接かわることは無い。	担当者会議をする機会が少ないので、機会があれば行いたい。現在はコロナ禍の為自粛中。	

	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	担当者会議を実施することがある。	
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	個別での対応をおこなっているため、交流の機会は設定していない。	
	㉒	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	今年はコロナの関係で開催自体されていない。	
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	現在コロナ対策のためFBを書面にて実施。	
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	2	今年は実施する事ができなかった。ただ、保護者の方への助言等は適宜行っている。	
保護者への説明責任等	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	契約の際や変更があった時など適宜おこなっている。	
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	3	1	個別支援計画を提示し内容についての説明を行い、毎回同意を得ている。	
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	相談に対して、どのような助言や支援ができるか話し合い、助言や支援を行っている。また、定期的にモニタリングを実施している。	
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2	コロナの影響で実施することが難しい。	
	㉙	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	相談や苦情については、迅速に職員同士で共有し、適宜対応をおこなっている。	
	㉚	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	ブログやLINEを通して活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している。	
	㉛	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	鍵付きのロッカーに入れ保管をしている。	
	㉜	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	お子さんに合わせた対応ができるかぎりおこなっている。	
	㉝	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3	1	地域住民を招待するイベントは実施していない。可能なら取り組んでいきたい。	
	非常時	㉞	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	各マニュアルを策定し、職員や保護者が見えるところに貼り周知している。

等 の 対 応	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	月に一度避難訓練を実施し、必要な訓練を行っている。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0	保護者からお話があった際に確認をおこない、職員間で共有をおこなっている。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	食事の提供はおこなっていない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	共有を行い再発防止の話し合いをしている。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	今年はコロナで研修の実施がされていない。研修が可能になりしだい行っていく。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	身体拘束を行う場合には教室内で話し合いを行い、保護者へ同意書のサインをいただき、行政へ連絡したうえで実施している。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2021年 2月 6日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新河岸校

保護者等数（児童数）：11 回収数：6 割合：54%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	4	2	0	0	もう少し広ければいいと思う。	物の配置等を工夫し、スペースを広げることができないか検討していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	4	1	0	1		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	1	2	0	入口の段差を改善してほしい。ドアも開けるところに取っ手をつけてほしい。あけづらい。	段差自体をなくすことは難しいですが、段差付近で怪我をしないよう段差付近に職員が立ったり、声かけを行い、怪我の内容に十分に配慮させていただきます。取っ手をつけることは難しいかもしれませんが、開けづらいときは、職員が手伝うなど対応させていただきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	5	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	0	2		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	5	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	4	1	0	1		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	2	1	2		
保護	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		

者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	5	0	0	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	0	2	1		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	1	0	1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	2	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	3	2		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3	3	0	0	色々のご相談にのってくださり感謝しています。	ご相談についてはできるかぎり対応をさせていただきたいと考えていますので、何かありましたらご相談いただければと思います。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	4	2	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	0	0	4		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	5	0	0	1		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	0	0	2		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1	0	3		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	4	0	0	2	毎回、通所を楽しみにしています。いつもありがとうございます。	私どもも引き続き来所を楽しみにしていただけるよう取り組んでまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	3	2	0	1	年長ですが、通所していなかったら自分の名前も書いていないと思います。個々にあった支援をして頂けて大満足です。	出来る事が増えていくことは喜ばしいことです。引き続きお子さんにあった療育に取り組まさせていただきますのでよろしく願いいたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」より事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。